

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 547

事務事業名	文化活動振興事業
-------	----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	文化振興課		
課長名	三ヶ島 恵利子	内線	375
担当者名	今村 明	内線	372

基本目標		人を育むまち
政策	010302	文化の振興と生涯学習の充実
施策		芸術・文化の振興
関連施策		

会計	一般会計	
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業コード	170000	文化活動振興費

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	文化協会関係団体、自主事業実施団体、県美術展、小中学校文化クラブ		
意図 対象をどのような状態にしたいか	文化芸術基本法の理念に基づき、市民の文化活動の活性化を図る。また、小中学校児童生徒が九州、全国レベルで積極的に活動できるよう、文化活動を支援する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	文化基金を活用し、文化協会や各種文化団体に対する補助を行う。また、小中学校文化クラブが九州大会、全国大会に出場する時の遠征費に係る助成金を交付する。		
事業期間	年度 ~ 平成 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	大村市文化基金条例 大村市社会教育振興費補助金交付要綱 大村市中学校部活動補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 文化活動振興事業補助金申請件数	計画値	13	13	13	17	
		実績値	15	18	16		
		達成度	115.4%	138.5%	123.1%		
活動指標	②	計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標	① 文化協会の会員数	計画値	2,000	2,000	2,000	2,000	
		実績値	1,703	1,617	1,542		
		達成度	%	85.2%	80.9%	77.1%	
	② 文化振興事業補助件数	計画値	13	13	13	17	
		実績値	15	18	17		
		達成度	%	115.4%	138.5%	130.8%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	1,886	7,819	3,414	3,784	4,484	4,484	4,484	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	1,886	3,415	3,414	3,784	4,484	4,484	4,484	
一般財源		4,404						
② 人件費(千円)	2,092	1,985	1,400	582	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.24	0.26	0.19	0.08	文化活動補助	文化活動補助	文化活動補助	
時間外勤務(時間)		10	30					
嘱託等人数(人)	0.10	0.00	0.00					
フルコスト(①+②千円)	3,978	9,804	4,814	4,366				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	文化協会加入文化団体の活動及びその他の文化団体による文化活動を助成した。 また中学校吹奏楽部等へ九州・全国大会などへの出場遠征費を助成した。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	財源となる文化基金は、利子の減少と取り崩しの継続により積立額が減少している。また、文化協会会員の年齢層が高齢化しているため会員人数が減少している。 遠征費補助金の補助率が、文化クラブ40%、スポーツクラブ50%と不均衡になっている。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	文化協会を中心に、舞台芸術祭・美術展等の開催や各種文化冊子の発行等、市民による多様な文化活動が毎年実施されており、この事業に対して補助を行うことは必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村市の文化発展を支える文化活動団体に対し、活動展開を支援するため、市の関与は重要である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	小中学校の文化クラブの大会出場増加による補助対象件数は増加した。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	文化団体の活動は市民が文化に触れ合う機会を提供しており、大村市の文化向上に貢献している。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	拡充	
--------	----	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	この事業によって文化団体の自主的で多様な文化活動が展開されており、このまま現状を維持したい。 遠征費補助金については、スポーツと同じ50%の補助率に変更する必要がある。 文化活動面での激励費を創設する。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	文化クラブとスポーツクラブの不均衡を解消することができる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象	今後の方向性	拡充
	終期設定				終期設定		
	意見等				内容	事業の方向性は、認める。 補助の対象とする大会の範囲など、整理をしておくこと。	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。